



高大連携協定を結んだ（左から）杉山幸子学長、小林眞学長、矢部広明校長

人材育成へ連携強化

八学大・短期大学部 八戸東高と協定

生徒と学生交流など推進

八戸学院大（小林眞学長）と同日短期大学部（杉山幸子学長）は5日、青森県立八戸東高（矢部広明校長）と、人材育成に向けた協力関係を強化する高大連携協定を締結した。大学側の教育者の派遣、生徒と学生の交流などを通じ、多角的な視点を備えた人材の育成を目指す。八学大と同日短期大学部が連携協定を結んだ県立高校は3校目。

この日は小林、杉山両学長と矢部校長が協定書にサイン。▽生徒の資質・能力の向上▽教職員の情報交換▽生徒・学生の交流▽その他相互にとって有益な事項の4点で連携すると確認した。

八戸東高は既に「総合的な探究の時間」で、両機関の教員の派遣を受け、生徒への指導、助言を受けている。小林学長は大学の授業体験といった案を披露しつつ「『なるほども』と思われる成果を出したい」と強調した。

杉山学長は、協定締結済みの高校の声に依って、高校生の保育士体験を実施したことに触れつつ「生徒の興味、関心を広げていきたい」と意欲を示した。

高等教育機関と初めて連携協定を結んだ八戸東高の矢部校長は「生徒が交流を通して物事を多角的に捉え、広い視野を育むことを期待している」と語った。

八戸東高は既に「総合的な

（桑田友人）